



温度センサ年間100万本の
量産体制を確立

30》株式会社岡崎製作所 福岡工場

☎62-2375 〒820-0502 嘉麻市上臼井868-2

工業用温度計の製造(熱電対・測温抵抗体)。第1工場から第4工場までそれぞれの製造過程が細分化されています。

産業の発展と社会の進歩に貢献する 温度センサとヒーターの専門メーカー

1972年に設立された株式会社岡崎製作所 福岡工場は、同じ嘉麻市にある株式会社岡崎製作所 九州工場など、国内7工場、海外2工場を持つ岡崎製作所のグループ会社です。温度設定および温度制御の高精度化がより求められ、あらゆる分野での期待を背負う岡崎製作所では、特に難易度が高く、技術力を必要とするロケット搭載用や原子炉用、ガスタービン用等の温度センサなど、高性能の“オンリーワン商品”が作られ、福岡工場では主に量産用温度センサ、一般用温度センサ、補償導線、抵抗素子を製造しています。量産用温度センサは数多くのロボット設備を駆使し、高品質で低コスト化を実現。機械加工から一貫生産で岡崎製作所の内製化は極めて高く、センサメーカーが機械加工から一貫して生産しているケースは珍し

くモノづくりにかける思いを象徴しています。

岡崎製作所の温度センサは、“熱電対(※1)”と“測温抵抗体(※2)”という2種類に分かれ、近年各工業界における機械による自動化にともない、その需要は伸び続けています。

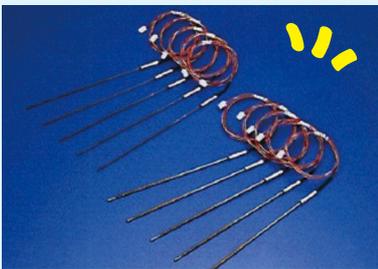
「常にナンバーワンではなくオンリーワンを目指して、工場にいる社員が一丸となりこだわり抜くモノづくりをしています」と嬉しそうに話される工場長の澁田さん。温度と熱の専門メーカーは今後も活躍が期待されます。

※1.熱電対(ねつでんつい)

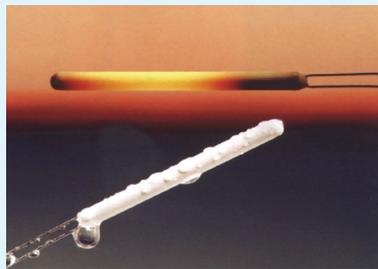
2種類の金属線の先端同士を接触させて回路を作り、接合点に発生する熱起電力を通じて温度差を測定する温度計。

※2.測温抵抗体(そくおんていこうたい)

金属や半導体等が温度変化によって電気抵抗値が変化する特性を利用し、その電気抵抗を測定することで温度を測定するセンサ。



燃料電池用温度センサ



高温用感温素子セラコイル

量産型温度センサは数多くのロボットを駆使し、 高品質低コスト化を実現

電力、ガス、船舶、鉄鋼、半導体、自動車、繊維、食品・薬品、環境、石油化学、航空宇宙等あらゆる工業界の温度測定および制御の高度化に即応し、信頼性の高い各種温度センサを国際規格ISO9001の品質管理体制のもとに製造しております。



働く人々

勤務
3年目

正社員

たなか ふぶき

田中 風吹さん

私の担当業務は、工場で製造した温度センサの出荷検査および客先で使用されたセンサの定期温度校正です。お客様の要望に対応し、お礼を言っていただけた際に一番やりがいを感じます。活気に満ち溢れた現場で、同じ現場の社員たちや製造担当と日々協力しながら楽しく仕事ができています。